

## はじめに

最近の消費者の購買行動は、車社会の定着、大型商業施設の増加、さらにはインターネットの普及などにより、ますます広域化・多様化しています。また、地域開発の進展などにより商圈構造は激しく流動化しています。

一方、消費者の価値観も一様でなく、その時々の一時的な必要性に基づき、感性豊かな商品や高品質の商品など多種多様な商品を求めて、広い範囲の様々な店舗を選び分けるようになってきました。

こうした商業集積の移り変わりや消費者の購買行動の変化を明らかにするため、緊急雇用創出事業基金事業の活用により、今回は三河部を対象に、消費者が買物をする場所、利用する店舗とその理由などを調査しました。

本報告書が、市町村内外の商業力の実態、消費者の購買行動の特性などをあらわすものとして、各種行政施策はもとより、事業者、商業団体並びに関係機関において、広くご活用いただけることを期待しております。

なお、この調査の実施にあたり、格別のご理解、ご協力をいただきました関係の皆様へ厚くお礼を申し上げます。

平成22年3月

愛知県産業労働部商業流通課長